



『おばあちゃんの回想録
木槿の国の学校 日本統治下の朝鮮の小学校教師として』
むくげ

上野 隼子 著 上野 幹久 編

日本統治下時代、日本人と朝鮮人とはどのような関係にあったのか。朝鮮での学校の様子はどうかであったのか。日本統治下の朝鮮の学校教育という制度の中に身を置き、子どもたちと関わりながら、戦中、戦後の激動期を気丈に生きた一人の女性教師の足跡。その中から朝鮮統治のありのままの姿が見えてくる。

*ソフトカバー 四六判 260p 本体 1,500円 + 税

ついに「朝鮮」の真実が明らかに！

市井の人の体験は、戦後作られたイデオロギーによる歴史とは全く異なっていました。温かくて、ほのぼのする朝鮮の人々との真実の交流に心が洗われます。

ジャーナリスト・ノンフィクション作家 **門田隆将**

【目次】

1. 朝鮮半島に渡った父 運命の岐路 / 朝鮮での父の功績 / 朝鮮で誕生した私
2. 窮乏生活 内地の祖父母の許に預けられて / 父の挫折 / 孫さん一家との交流 / 苦学の中からの希望 等
3. 榮山浦南小学校 一クラス八十人の複式学級 / 学校での教育内容 / 朝鮮の庶民の暮らし / 創氏改名と入隊志願 等
4. 月見小学校 勤労働員と軍事訓練 / 朝鮮の地での警戒警報 / 流言飛語と青酸カリ / 地元民からの永住嘆願 等
5. 引き揚げ 閩船 / 釜山の荷物検査所での機転 / 輸送船で博多港へ / 兵隊さんへの演説 / 国破れて山河あり 等
6. 終戦後の暮らし 飛行場跡地の開墾 / リュックのさつまいも / 教職との別れ、親との別れ
7. エピローグ 孫さん一家との再会 / 「親日家」への弾圧の背景

こんな人にオススメ！

- 昭和史に興味がある人
- 教育史を研究している人
- 日韓併合時代の朝鮮の生活を知りたい人
- 日韓関係の真実を知りたい人
- 日本統治下の朝鮮でどのような教育が行われていたかに興味がある人

【編者】上野 幹久 (うえのみきひさ)

昭和 24 (1949) 年、福岡県朝倉市 (現) に生まれる。

福岡教育大学卒業後、久留米市内の小学校に勤務。福岡教育大学の附属小学校や久留米市教育委員会などを経て、平成 11 年に久留米市立の小学校校長となる。

11 年間の校長生活を送り、退職後は同市の教育センターに勤務。また、福岡教育大学後援会長を務める。平成 27 年度まで 2 年間八女郡広川町教育研究所長。

著書として、教育エッセイ『白墨浪漫』シリーズ (自費出版) がある。福岡県久留米市在住。

梓書院	注文	日付	ご担当	ISBN 978-4-87035-585-9 C0021
(貴店番線)	冊	/	様	おばあちゃんの回想録 むくげ 木槿の国の学校 日本統治下の朝鮮の小学校教師として
				定価 1620円 (本体 1500円 + 税)
	上野 隼子 著			福岡市博多区千代 3-2-1 (tel)092-643-7075

【ご注文は FAX : 092-643-7095 梓書院 (担当: 森下) まで】